

鳥取県

水産加工品 売り込み 東京のアンテナショップで

「山陰特産のわかめはいかがですか。ぜひ味見してください」。

9月29日から3日間、JR新橋駅（東京都港区）近くの鳥取県のアンテナショップで、NPO法人ライヴ（大田百子理事長、鳥取県米子市）が水産加工品を売り込んだ。

ライヴでは障害者が地元の漁師と協同して天然・無添加にこだわった乾燥わかめ・めかぶ、白いかするめなどを製造販売している。

ライヴの「板わかめ」は人気商品で、県の特産品コンクールで優秀賞を受賞した。

物品販売フロア店長の瀬尾泰弘さんは「例えば小分け売りを助言すると、障害者施設は手間がかかったとしてもすぐに対応してくれる。強力なタッグパートナー」と語る。

ライヴは今秋、鳥取県内の漁港で、漁港と地域の活性化などを目的に複数の障害者事業所による水産加工施設を開設する。



お客さんに声を掛ける利用者